

幼児教育学科

幼稚園実習に必要な知識、心構えを学んでいるところです。

表 碧海さん 2年
[金沢高等学校出身]

昔から小さい子どものお世話をすることが好きで、自分の強みを活かせる進路を考える中で、保育や教育の道が見えてきました。幼児教育学科を選んだのは、県内で唯一、保育士・幼稚園教諭・小学校教諭の3つの免許を取得できるプログラムがある点に魅力を感じたからです。日々の授業のほか、個室の練習室でピアノを弾いたり、広々としたラーニング・コモンズで課題に取り組んだり、学内の充実した設備を活用して学んでいます。ボランティア活動にも積極的に参加し、子どもたちと触れ合う機会を増やしていきたいですね。

70余年で輩出した保育者・教員の累計人数 約5,400人

養成する人材像

キリスト教的人間観を理解し、幼稚園、保育所、認定こども園、児童福祉施設等における保育や教育、地域の子育て支援を専門的に担い、子どもたちが自分の個性を発揮し、成長することに寄与する専門的知識と高い実践力を備えた保育者・教育者を養成する。

取得可能な免許・資格

■ 幼稚園教諭一種免許状 ■ 保育士資格 ■ 小学校教諭一種免許状 ■ 准学校心理士
※小学校教諭一種免許状は、一定のGPA以上の者に限り履修を認めるものとする。

子どもから学び、 子どもの個性を大切にする保育者に。

幼児教育学科では、キリスト教的人間観に基づき、子どもの多様な個性を尊重しながら、子どもと保護者に寄り添う保育教諭・幼稚園教諭・保育士を養成します。地域の多様な人々と協働し、保育、教育、子育て支援を実践する力を身につけます。

身につく力

子どもの遊びを育む力

遊びを広げる環境と関わりを考える。

幼児期の子どもは「遊ぶこと」を通じて、頭と心と体を動かし、生きていくために必要なさまざまな力を体得します。子どもが夢中になって遊ぶ環境をつくり、その育ちを支える実践力を養成します。



地域・社会と協同する力

地域と連携し、課題解決に取り組む。

子どもの成長を社会全体で支えていくことが求められています。地域社会が抱える子育ての課題について理解を深め、さまざまな関係者と協同して解決していく実践力を養成します。



支えあう仲間を生み出す力

チームで子どもの成長を支える場をつくる。

保育者のチームワークは、保育の現場において欠かすことができない重要な要素です。コミュニケーションや協力を大切に、お互いを認め合い、支えあう仲間づくりを生み出す実践力を養成します。



保育者力



幼稚園・保育所・認定こども園

児童養護施設

乳児院

児童発達支援施設

放課後等デイサービス

保育者が
活躍するフィールドは
広がっています

子どもや子育てをめぐる環境が大きく変化
中、さまざまな場面で保育の専門性を活かした
子育て支援が求められています。

病児病後児保育所

母子生活支援施設

家庭内保育

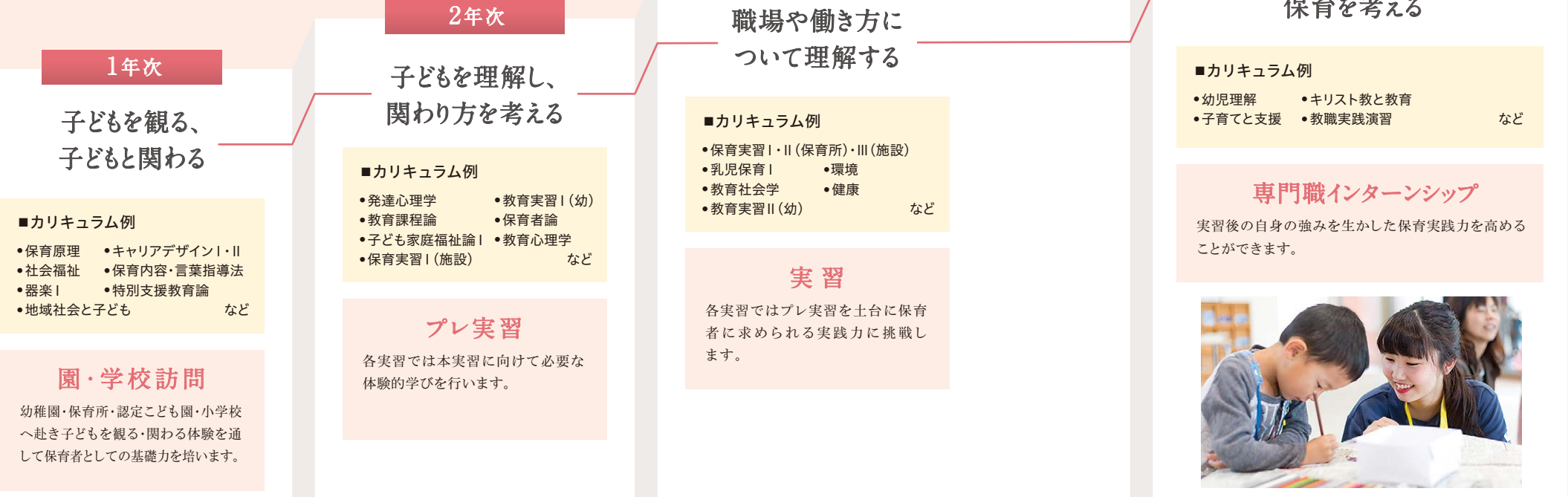
企業内保育所

小規模保育所

etc.

幼児教育学科 ステップアップ・プログラム

実習を中心とした体験学習により、段階的に高次の学びへとステップアップできるプログラムを用意しています。最前線の保育課題を研究する教員が指導にあたります。



※年次や月に変更になることがあります。

教員サポート

1・2年次ゼミ

各教員が大学の生活や授業をサポートするアドバイザーと初年次教育を通して大学生としての基礎学力を育成する支援を行います。

3・4年次ゼミ

希望する教員の研究室に所属して専門的な学びの集大成を卒業研究にまとめます。

学外活動

保育学生として学んだ知識や技術を生かして、地域社会に貢献します。

活動例

•「幼稚園ってどんなところ？」(石川県私立幼稚園協会)
•「図書館や児童館・児童クラブ」(金沢市連携授業)での活動
•「ほいっぽ」(石川県保育学生団体)



もう一つ上のステップへ

アドヴァンスト・プログラム

[通常取得可能な免許]

幼稚園教諭一種免許・保育士資格



小学校教諭一種免許

幼児教育学科では、このプログラムにより幼稚園教諭免許及び保育士資格の他に小学校教諭免許が取得できます。

※入学後、学業成績が学科の定める基準に達した者に限る。

より強みのある
保育者に！

Pickup Study

キャリアサポート

学生支援係では個人面談を通じて一人一人に合った就職支援を行っています。また学科独自の取り組みとして、教員採用試験の模擬授業や集団面接に向け、学生同士で学び合える場づくりをサポートしています。

- 学生支援係にはキャリア支援の専門家が常駐。
- 学生の個性を捉え、一人一人の夢の実現を後押し。
- 模擬面接を通じ、今の自分の課題を発見。



教材研究支援

紙芝居やパペット、パネルシアターなど、子どもの好奇心や探究心を育む保育教材の制作や活用について、専門職員が丁寧にアドバイスをします。



卒業後も続く学びのフォロー

若手保育者の フォローアップ研修

さまざまな保育施設で働く1～3年目の保育者を対象としたフォローアップ研修を毎年開催しています(金沢市幼児教育センター委託事業)。本学科卒業生のほか、若手の保育者がキャンパスに集まって今の思いや悩みを話し合い、明日の保育へのモチベーションを高めています。



若手保育者の
フォローアップ研修の
様子はこちら

卒業後も続く サポートとつながり

本学科では卒業生に保育教材の貸し出しを行っています。またそれぞれの節目に教職員を訪ねてきてくれる卒業生も少なくありません。卒業しても「帰ってきたくなる場所」として、皆さんを応援しています。



卒業生の
北陸学院大学訪問の
様子はこちら

自分未来プロジェクト

赤ちゃん・サロン(地域連携活動)

地域の子育て支援の一環として、また学生の学びを深める場として、0～3歳とその保護者を対象にさまざまな遊びや交流を楽しんでもらう活動を行っています。

